

生きていける賃金を出せ！ 希望者全員を正社員に！

2018 CTS 春闘 速報

職場討議資料 No.2 2018年3月21日

動労千葉 (国鉄千葉動力車労働組合)

< C T S 団交報告② >

会社 「出向分担金が増えるから労働条件改善は見送る」

CTS 回答は格差解消に逆行

契約・パートの半数（約 200 人）が無期雇用に転換し、一時的・臨時的な働き方ではなくなる。世帯主や一人暮らしの仲間も多いことから、3月14日の団交では4月以降の賃金・労働条件の抜本的な改善を求めて交渉を行った。

右表のとおり、どれも最低限で死活的な要求だ。

■許しがたい！ 「エルダーの出向分担金が増えるから実施見送り」とゼロ回答

これに対して C T S は、基本的にゼロ回答に終始した。その理由は本当に許しがたいものだ。

(団交でのやりとり)

組合：具体的に突っ込んで検討したのはどの項目か。

会社：深夜早朝手当と扶養手当については具体的に検討を行ったが、両方とも4月1日の実施は見送った。

組合：理由は。

会社：原資の問題。エルダー出向者の賃金改善にともない出向分担金が増えるため。

組合：それはあまりにおかしい。エルダーの賃金改善は J R 東日本の施策だ。増額分は J R 東

【動労千葉の賃金・労働条件改善の要求（要旨）】

契約・パート社員の約半数が無期雇用に。65歳まで働くことになることから、無期転換にあたって賃金労働条件の抜本的改善が不可欠だ。

- ① 契約・パートを月給制に戻す
- ② 契約・パートに定期昇給を実施
- ③ 60歳以降の賃金引き下げのとりやめ
- ④ ボーナスを社員と同じ基準で支給
- ⑤ 契約・パートに扶養手当を支給
- ⑥ 全社員に住宅手当を支給
- ⑦ 深夜早朝手当の事業所間格差を解消。一律 1500 円を支給
(※現在、最大で6倍(!)の格差がある)

が負担すべきもの。それで C T S プロパーの賃金、手当などが圧迫されるなど、あってはならないことだ。

■グループ会社に矛盾をシワ寄せするな

J R 東日本は4月以降、エルダー賃金を現役時代の約5割から6割へと改定する。現役時代に比べ、エルダー賃金があまりに安いことへの怒りが高まり、エルダーの J R 本体雇用も始まるため、改定せざるをえなかったものだ。これでもまだ安いぐらいだ。

しかし、それを理由に C T S での賃金・労働

条件を抑制するなど絶対にあってはならないことだ。「格差解消」に逆行する、とんでもない回答だ。

C T S の収入のほとんどは、J R からの委託費だ。毎年毎年、空前の黒字を更新している J R 東に金がないわけがない。

J R からの天下り幹部ばかりが高給をむさぼり、矛盾をグループ会社にしわ寄せし、C T S プロパーには食うや食わずの超低賃金を強制する J R - C T S 幹部は絶対に許せない！

■深夜早朝手当の格差（最大6倍！）解消は待ったなしだ！

とりわけ、深夜早朝手当は、最高額で 1,500 円、最低額が 250 円と 6 倍もの開きがあり、一年以上にわたって交渉を繰り返してきた懸案だ。

「同じ深夜帯の仕事をしながらなぜこれほど格差があるのか」という追及に対して、会社はまったく答えることができず、制度の不備を認めざるをえなかった。地域間格差の解消は、待ったなしだ。

扶養手当の支給も同じだ(社員には支給。契約・パートには不支給)。不合理な差別、格差は、ただちに是正されなければならない。

■職場からの怒りの声こそ労働条件を変える力

多くの会社で、正規・非正規の格差解消にむけ、裁判も含めた闘いが粘り強く闘われている。多くの勝利判決も出ている。職場からの怒りと闘いこそ、賃金・労働条件を変えさせる力だ。全国の仲間とともに、今春闘で賃金格差の抜本的改善をかちとろう。

感想、職場での困りごと、問題点など気軽にご連絡ください

ホームページ：<https://doro-chiba.org/> 「動労千葉」で検索！

国鉄千葉動力車労働組合（略称：動労千葉）

千葉県千葉市中央区要町 2-8 DC 会館内

電話 043-222-7207 mail : doro-chiba@doro-chiba.org